

まなごしの先にあるものは――



# 健全な町の財政を取り戻すために

## 涌谷町財政非常事態宣言

2月15日発行の広報わくやお知らせ版でお伝えしたとおり、平成31年1月30日付けで、「財政非常事態宣言」を発令しました。

現在、涌谷町の財政はかつてない深刻な状況にあります。このままでは、夕張市のような企業の倒産にあたる財政再生団体となる最悪の事態も想定されるため、「財政非常事態宣言」を発令して厳しい財政状況を早期に克服し、将来を見据えた健全な行財政運営を確立するため、町民の皆様とともに行財政改革を実施していく必要があります。

**町財政の現状（平成19年度決算と平成29年度決算の比較）**  
歳入の自主財源となる町税は、約15億円で10年間ほぼ同額で、人口減少などにより、伸び悩んでいます。地方交付

税は、逆に1億6000万円ほど増加しました。（表1）

歳出の人員費は、定員管理計画などの実行により、2億2000万ほど減額。一方で子ども医療費や老人保護措置費などの社会保障費といわれる扶助費は、平成29年度では9億2000万円と、4億円（約1.8倍）も大幅に増加しています。（表2）また、補助費には、大崎地域広域行政事務組合や下水道事業、病院事業への繰出しがあり、平成29年度では15億3000万円（約1.5倍）に増加し、大きな負担となっています。（表3）

歳出総額では、平成19年度は60億円、平成29年度で78億円となり、10年で約1.3倍となつていますが、自主財源などで賄える町の財政規模は50億円程度で、この10年間変

わつていません。つまり、自主財源は増加せず歳出のみが肥大化したということになります。そして、増えた歳出をさまざまな手立てで財源を工面しても、財源が不足する場合は、一般家庭でいう貯金にあたる財政調整基金を取り崩して賄うこととなります。

平成24年度から単年度の収入では賄えない状態が続き、その都度、財政調整基金を取り崩して財政運営を行ってきました。その基金も平成25年度には12億円以上ありましたが、平成31年1月8日の補正予算段階では、4億9932万円まで減少しています。

**今後の財政の見通し（平成31年1月30日現在）**  
今後の人口減少や税収の減少を見込んだ上で、現在の行財政サービスの水準を維持する

表1 《歳入の状況(抜粋)》

(単位：千円)

区分	年度	平成19年度	平成26年度	平成27年度	平成28年度	平成29年度	H29/H19比
町	税	1,542,533	1,466,217	1,471,797	1,515,076	1,523,274	99%
地方交付税		2,711,169	3,182,875	3,009,173	2,957,942	2,877,558	106%
合	計	6,118,530	8,460,867	8,980,370	8,192,716	7,940,971	130%

財政調整基金取崩額	0	216,500	218,000	391,000	104,000
財政調整基金残高	556,555	1,130,348	990,309	709,894	758,613

表2 《歳出の状況(抜粋)》

(単位：千円)

区分	年度	平成19年度	平成26年度	平成27年度	平成28年度	平成29年度	H29/H19比
人件費		1,510,673	1,314,384	1,314,153	1,278,849	1,290,422	85%
扶助費		530,136	912,196	874,848	935,113	928,665	175%
公債費		1,103,186	690,984	983,963	838,120	863,353	78%
補助費等		1,000,001	1,354,327	1,534,056	1,507,667	1,531,638	153%
合	計	6,032,290	8,125,119	8,352,796	7,565,092	7,802,988	129%

予算編成を続けた場合、毎年約1億円の財政調整基金を取り崩すことになり、平成33年度には財政調整基金が枯渇し、424万円の赤字になることが予想されます。さらに平成34年度には、6424万円の赤字になる見通しです。(表4)

ただし、赤字になっても、町財政が直ちに運営できなくなるわけではありません。また、国が定める財政健全化判断比率では、平成29年度決算では、まだ健全の範囲です。

(表5) 涌谷町は、約10億円の累積赤字となった場合、財政再生団体に指定されます。

財政再生団体となった場合、町税の増税や手数料の大幅な引上げなど、町民の皆様にも大きな負担を強いることとなります。また、町独自の施策の実施はほぼ不可能となり、地方自治を放棄するに等しい事態に陥るといふこととなります。

**財政非常事態宣言について**

平成31年度予算編成については、徹底的な内部管理経費などの削減を進めても、財政調整基金を取り崩さざるを得

ない状況です。

今回、この宣言を発令したことを契機に、町財政の健全化を目指して、これまでの財政調整基金を取り崩して行財政運営を行う構造を抜本的に見直し、財政再建に向けた収入の確保と内部事業の見直しなどの財政構造の転換、行政サービスの見直しや受益者負担の適正化などを図ります。

今後は、3月中旬に基本方針となる大綱を策定し、9月を目途に具体的な内容を盛り込んだ計画を策定する予定です。策定する過程では、町民の皆様との意見交換会などを開催する予定です。

財政の健全化は、町民の皆様、地域社会、関係各種団体などへの影響が大きいことから、皆様のご理解とご協力がなければ絶対にできません。将来の世代に健全な財政を引き継ぐために涌谷町の再生を果たし、未来の涌谷町を創造するために、皆様のご理解とご協力をお願いします。

表3 《繰出金などの推移(平成31年1月30日現在)》

(単位：千円)

	平成19年度	平成26年度	平成27年度	平成28年度	平成29年度	H29/H19比
大崎地域広域行政事務組合	537,689	622,912	606,395	595,009	620,803	115%
下水道事業会計	314,085	337,359	362,368	362,745	375,769	120%
水道事業会計	1,300	0	0	0	110	8%
病院事業会計	121,160	264,195	494,887	473,824	479,884	396%
老健事業会計	8,010	5,260	7,021	6,876	8,208	102%
合計	982,244	1,229,726	1,470,671	1,438,454	1,484,774	151%

表4 《財政計画(平成31年1月30日現在)》

【歳入計画】

(単位：千円)

区分	平成30年度	平成31年度	平成32年度	平成33年度	平成34年度
町税	1,496,034	1,499,091	1,495,231	1,488,102	1,483,331
地方譲与税	107,100	108,300	106,600	107,300	107,300
各種交付金	372,468	363,006	369,110	368,910	368,710
地方交付税	2,825,729	2,570,000	2,523,000	2,476,940	2,431,801
国庫支出金	464,312	611,998	611,998	526,201	526,201
県支出金	469,839	522,137	517,544	443,695	443,695
繰入金	766,265	214,733	504,440	131,460	75,098
諸収入	213,156	196,479	213,000	207,500	205,600
町債	720,195	436,065	477,195	274,445	274,445
その他	280,951	130,181	130,631	130,635	131,131
計	7,716,049	6,651,990	6,948,749	6,155,188	6,047,312

【歳出計画】

(単位：千円)

区分	平成30年度	平成31年度	平成32年度	平成33年度	平成34年度
人件費	1,264,748	1,254,602	1,245,399	1,181,013	1,178,804
扶助費	844,844	835,355	837,650	838,892	839,897
公債費	742,866	642,171	906,881	542,772	537,978
物件費	1,094,382	1,128,307	1,128,307	1,114,611	1,114,611
補助費等	2,238,207	1,671,940	1,664,821	1,655,501	1,542,633
投資的経費	594,430	441,580	475,280	121,780	121,780
繰出金	513,315	466,188	467,972	467,058	466,370
その他	423,257	211,847	222,439	233,561	245,239
計	7,716,049	6,651,990	6,948,749	6,155,188	6,047,312

【財政調整基金残高】

(単位：千円)

区分	平成30年度	平成31年度	平成32年度	平成33年度	平成34年度
積立額	67,000	5,100	5,100	5,100	5,100
取崩額	541,287	103,676	78,735	121,460	65,098
残高	284,326	185,750	112,115	△4,245	△64,243

表5 《健全財政化法に基づく健全化判断比率》

健全化判断比率	平成28年度	平成29年度	早期健全化基準	財政再生団体
実質赤字比率	赤字なし	赤字なし	15.00%以上	20%以上
連結実質赤字比率	赤字なし	赤字なし	20.00%以上	30%以上
実質公債費比率	11.40%	12.60%	25.00%以上	35%以上
将来負担比率	75.50%	66.30%	350.00%以上	—

宮城県重要無形民俗文化財  
**籠岳白山祭**



①



②

③



④

⑤



⑥



⑦

1月27日(日)に、籠岳山籠峯寺において、宮城県重要無形民俗文化財の「白山祭」が執り行われました。

「白山祭」は、2人の御稚児さんが籠峯寺の僧の介添えを受け、12本の矢(うるう年の場合13本)を「鬼」と書かれた的に放ち、その年の天候を占うという神事です。

涌谷町だけではなく、「世界農業遺産」にも認定された稲作を中心とした農業を基幹産業とする「大崎耕土」を有する大崎地方にとって重要な意味を持つ行事です。

**12本中11本が的中!しかし:**

14時頃、籠峯寺境内にほら貝の音が響き渡り、御守役に背負われた御稚児さんを先頭に、各坊の僧たちが白山堂前に姿を現しました。

今年の2人の御稚児さんは、村上大和くん(3歳・脇区)と中澤伶音くん(6歳・太田区)。御守役の父親たちが緊張した面持ちであった一方、父親に背負われリラックスした表情の御稚児さんたちが印象的でした。

僧侶たちによる読経の後、「籠宮碑」の前が据えら

- ①観衆が見守る中放たれる矢
- ②一山の僧侶総出で厳修される
- ③籠宮碑前で行われる神事
- ④十一面観音像前に掲げられた白山妙理大権現図
- ⑤産仮小屋の家中がこしらえるオサシグシ
- ⑥守役に負われて白山堂へ
- ⑦守役と御稚児さんから父と子になった一場面
- ⑧的へまっすぐに放たれる矢
- ⑨かつの御稚児さんもお勤めをしっかりと果たす
- ⑩宿坊を訪れる信徒にふるまわれる精進料理
- ⑪おもてなしの心が伝わる手書きのイラスト
- ⑫笑顔とともに孫・ひ孫に受け継がれる



⑧



9

# 豊穰

への期待が高まる

近年、深刻な猛暑や長雨に見舞われている涌谷町。

異常気象が基幹産業の農業に及ぼしている影響は、少なくありません。生産者が注目する、1年の天候を占う「御弓神事」の結果は如何に一

れ、「御弓神事」が始まりました。大勢の観衆が見守る中、1月から11月まで次々に的を射抜いていき、すべての矢が的中する期待感が高まってきましたが、最終の12月は的の左上をかすめ、惜しくも外れてしまいました。

松本坊住職の坊城延溟氏によれば、「今年ほど当たった年はない。ただ、当たった年の矢もこのうちに命中したため、稲作においては平年作。出穂期の8月は右端に当たったことから、やや天候不順と

なる可能性が高く、少し努力が必要となるでしょう。12月は、上に外れたため風に注意が必要」と占われました。

**温かくやさしいおもてなし**  
 笹峯寺観音堂では、産仮小屋の皆さんが、白山祭に訪れる人々に御神酒と、焼き豆腐とごぼうを串に刺した「オサシグシ」で迎えます。

また、各宿坊では、各坊の婦人が、笹岳山で採れた味わい深い食材を使った精進料理で、厳寒の中訪れる信徒を温かく迎え入れます。



10



11



12



遠方に暮らす息子さん・娘さんにオススメください

## 「郵便局のみまもりサービス」をふるさと納税の返礼品

とすることに関する協定を締結しました



平成31年2月4日(月)に、涌谷町は日本郵便株式会社と「郵便局のみまもりサービス」をふるさと納税の返礼品とすることについて協定を締結しました。

「郵便局のみまもりサービス」は、ふるさとを離れて暮らすご家族に、ふるさとで暮らしている高齢者の生活の様子を定期的に知らせるサービスです。

離れて暮らす家族の安心を支援し、また身近な存在である郵便局の社員がサポートする地域密着型のサービスを返礼品とすることで、他の自治体と差別化を図る、ふるさと納税の新たな取り組みとして進めてまいります。

### 《「郵便局のみまもりサービス」について》

「郵便局のみまもりサービス」は、涌谷町内に暮らす皆さんの生活の様子を、涌谷町を離れて暮らす家族に定期的にお知らせするサービスです。

#### 【みまもり訪問サービス】

毎月1回、郵便局員が涌谷町内に暮らす皆さんのお宅を訪問し生活状況などを確認して、その結果を町外に暮らす家族にメールで知らせます。



#### 【みまもりでんわサービス】

毎日指定された時間帯に自動音声電話を涌谷町内に暮らす皆さんのお宅に掛け、体調確認結果を、町外に暮らす家族にメールで知らせます。



固定電話コースと携帯電話コースの2種類があります。

### 《サービスを利用するためのふるさと納税額》

#### 【みまもり訪問サービス】

- サービス利用期間6ヵ月間 ……6万円
- サービス利用期間12ヵ月間 ……12万円

#### 【みまもりでんわサービス】

- 固定電話サービス利用期間6ヵ月間 ……2万5千円
- 固定電話サービス利用期間12ヵ月間 ……5万円
- 携帯電話サービス利用期間6ヵ月間 ……3万円
- 携帯電話サービス利用期間12ヵ月間 ……6万円

### 《ふるさと納税の申込方法》

ふるさと納税ポータルサイト「ふるさとチョイス」内にある涌谷町特設ページから、希望のサービスを選択しお申し込みください。

その他に、専用申込書による郵送やFAXでの申し込みも受け付けています。希望者には、返礼品カタログと申込書を送付します。下記までご連絡ください。

### 《ふるさと納税にかかわる問い合わせ先》

涌谷町役場総務課 ☎43-2111





## 食べる権利を保障するために 口から食べる幸せを考える講習会

1月30日(水)に、涌谷町町民医療福祉センターで、NPO法人「口から食べる幸せを守る会」の竹市美加副理事長を招き、摂食が困難な人でも口から食事をとれるようにするための講習会を涌谷町国保病院の職員向けに開きました。

講習では、実際に患者と同じ状況で口から食べ物を取り、どのようにして誤えんが発生するか、防止するためにはどのように食べさせればいいのか、体験を交えながら患者の暮らしの質の向上に直結する指導が行われました。



## 4月からの通学もばっちり 今年度最後のこじかクラブ交通教室

2月12日(火)に、ののだけ幼稚園で、交通ルールについて学ぶ「こじかクラブ交通教室」が開催されました。

今年度最後の今回は、春から小学校に通う年長さんを中心に、これまで学んできた信号や横断歩道における交通ルールをおさらいしました。

また、年長さんには、入園以来毎年「こじかクラブ」で交通ルールを学んできたことに対して、修了証書と警察官の帽子と手帳のペーパークラフトが贈られました。



## 手芸愛好家の皆さんの作品が一堂に 花勝山でひな飾り展

2月に入り、涌谷町花勝山で菊などの花きを生産する佐藤園芸の佐藤厚子さんの自宅において、手芸を愛好する皆さんが、農作業の合間に制作したつるし雛や、各家庭で所有していたひな飾りを一堂に会した展示会が開かれています。昨年に続いて2回目の今回は、昨年よりも作品数が増えており、和服をリフォームした作品も今年は新たに並んでいます。この展示会は、3月下旬まで続く予定ですので、足を運んでみてください。



## 私の中の悪い鬼よ、出ていけ さくらんぼこども園で豆まき会

2月1日(金)に、さくらんぼこども園で、節分にちなんだ豆まき会が行われました。

各園児一人一人が、自分の中に潜んでいる悪い鬼を形にしたお面を作成。それを被った愛らしい姿でお互いに、新聞紙をまるめて作った豆をぶつけあい、鬼を退治しました。その後、男性の先生たちが演じる恐ろしい鬼も退治した後、会場には福の神が登場し、泣き顔の子どもたちに福をもたらす笑顔をしていきました。



## 仙台市の皆さんに涌谷町のうまいものをお届け 街道を結ぶうまいもの味めぐりに出展

2月5日(火)から10日(日)までの6日間、仙台市青葉区の東北電力グリーンプラザにおいて、国道108号線、通称「石巻別街道」沿いの涌谷町を含む4つの自治体のうまいものを取り揃えた「街道を結ぶうまいもの味めぐり・石巻別街道2019」に出店しました。

イベントでは、涌谷町産ブランド米「金のいぶき」をはじめ、わくや産直センター黄金の郷の新鮮朝採り野菜や郷土食「おぼろ豆腐」、銘菓などを販売してまいりました。



## 金のいぶきの規格外米を使った商品を開発 玄米甘糍「くがね甘露」を発売

1月31日(木)に、涌谷町地域おこし協力隊の丹治隊員が開発した玄米甘糍「くがね甘露」が発売されました。この「くがね甘露」は、涌谷町産ブランド米「金のいぶき」の規格外の中米を活用するためと、丹治隊員が着任した直後の平成29年春頃から動き出したプロジェクトです。

「くがね甘露」というネーミングは、日本初の産金地・涌谷町ならではの商品となるよう、「黄金」を「くがね」と読む文化と、さまざまな苦悩をいやし、長寿をもたらすという甘く蜜のような仙人の食べ物「甘露」を思わせる美味しさと栄養素を兼ね備えたことにちなんだものです。

平成29年秋には、石巻市にある島津麴店の協力によって試作を済ませ、商品の中身の完成にこぎつけました。「金のいぶき」の中米を発芽玄米にしていることで、「金のいぶき」の特徴であるGABA(ストレス軽減・血圧降下作用)が大幅に強化されています。

その後、丹治隊員が販売するための体制づくりとして個人事業主登録をしつつ、事業に必要な資金を調達するため、平成30年11月8日(木)からクラウドファンディングに挑戦。これまでの丹治隊員の地域おこし協力隊としての活動に賛同された涌谷町民の皆さんをはじめ、宮城県内を中心とした全国の皆さんが支援し、目標額を超える58万円の事業資金を集めることに成功しました。その資金を元に原材料の調達や加工、パッケージ製造を行い、1月31日の発売にこぎつけました。2月7日(木)の「石巻別街道」出店を皮切りに、2月17日(日)と23日(土)には、クラウドファンディングの支援者向けに、「くがね甘露」を使った丹治隊員の提案料理をふるまうお茶会と、仙台市宮城野区のイタリアンレストラン「トラットリア・クチーナオランジェリー」で「くがね甘露」を使ったランチ会を開催しました。

この「くがね甘露」は、わくや天平の湯と天平ろまん館で販売しているほか、メモリー洋菓子店では「くがね甘露」を使ったロールケーキが販売されています。

また、1月31日から「金のいぶき」を使ったアイスクリーム「金のいぶき花咲く伝説」も発売されています。

